

## 修学旅行に寄せて

校長 春名 正章

今年度の修学旅行は、新型コロナウイルスの流行によって行き先を変更し、北海道で実施することとなりました。世の中の情勢によるものであり、それはとても残念なことではありますが、修学旅行は多くの学校行事の中でもいつまでも記憶に残るものです。卒業後の友との再会の際には思い出し語られる楽しい思い出となることでしょう。

北海道の雪は海外でも「究極のパウダースノー」と賞賛され、たくさんのスキーヤーがスキー、スノーボードを楽しみに訪れることで、世界的に有名です。また、滞在するトマムはパウダースノーだけでなく、大規模リゾート施設としても評価が高いところです。一方で、北海道は、手つかずの原生的な自然が残されている知床が世界自然遺産に指定されて16年になり、また先住民アイヌ民族の文化、明治以降の開拓文化が今も残るなど、本州では見られない特有の自然や文化を歴史的に育んできた土地です。どうか雄大な北海道を大いに楽しみ、日ごろの生活では得られない体験や学びを経験してください。皆さんには、そこから、それぞれの人生に生かすことができる何かを学んで欲しいと思います。

また修学旅行は、集団での行動や友人との交流など、日ごろの学校生活で学んだことを実践するとともに、学校生活では体験できない活動について学ぶ場でもあります。高砂南高校生らしく、折り目正しく、明るく楽しく、そして何よりも健康と安全に気をつけて、全員が無事に旅行できるよう心がけてください。

素晴らしい修学旅行体験となることを期待しています。